

京都地区協議会の研究・研修会の見直しについて（案）

2010 年度春季京都地区協議会での提案

西地区部会京都地区協議会

理事校 京都女子大学図書館

〔はじめに〕

「京都地区協議会の研究・研修会の見直しについて」は、2009 年 10 月 23 日開催の秋季京都地区協議会（第 135 回）の席上で、加盟館大学に見直しの意見を募った。

理事校にお寄せいただいたご意見は、見直しの提案についての賛成の意見が多かった。特に研究会を統合して減らす意見が大半であった。また、業務委託による職員減少の問題や共同開催や実務に直結した研修会を開くべきとのご意見も届けられた。

具体的な提案として加盟大学から「近畿イニシアティブの研修制度を活用するために現在 2 種類ある主題別研究会の担当を近畿イニシアティブ担当校として振替える。」とのご意見も届けられた。

〔第 2 回運営委員会での討議〕

京都女子大学において 2010 年 3 月 26 日に開催した第 2 回運営委員会で検討課題を討議した。相互協力連絡会幹事館（京都産業大学）からも相互協力連絡会の今後についての提案がなされた。内容は“連絡会研修会については、協議会の各研究会・研修会に統合する。詳細については、協議会の中で検討されることを望む。”ことで結論が出される報告があった。

また、理事校から具体的な 3 案、“①主題別研究会 A・B 該当校を近畿イニシアティブへの京都地区派遣校として「能力開発専門委員校」となってもらう。それにより主題別研究会 A（書誌）、主題別研修会 B（業務）を廃止する。②主題別研究会 A・B をそのまま残し、研修大会か相互協力連絡会研修会をどちらか 1 つに統合する。③「研修大会」か「相互協力連絡会研修会」をどちらかを廃止する。”案のもと以下のような意見がだされた。

- 案 1 については問題点のほかに、“他の組織との仕組みの違いがある。”“近畿イニシアティブの研修会定員が 50 名なので参加できない大学が出てくる。”などの意見が出された。
- 委員から“案 2 や案 3 よりさらに 4 つの研究会を 2 つにしようかという意見も出された。
- 委員から“研修のテーマが重要であるのでこれについて検討する組織が必要である。”との意見が出された。
- 委員から“研修大会は予算が多い（26 万円）ので開催校の負担が多く、見直しが必要である。”との意見が出された。
- 委員から“京都地区協議会の会則を検討する必要がある”という意見が出された。